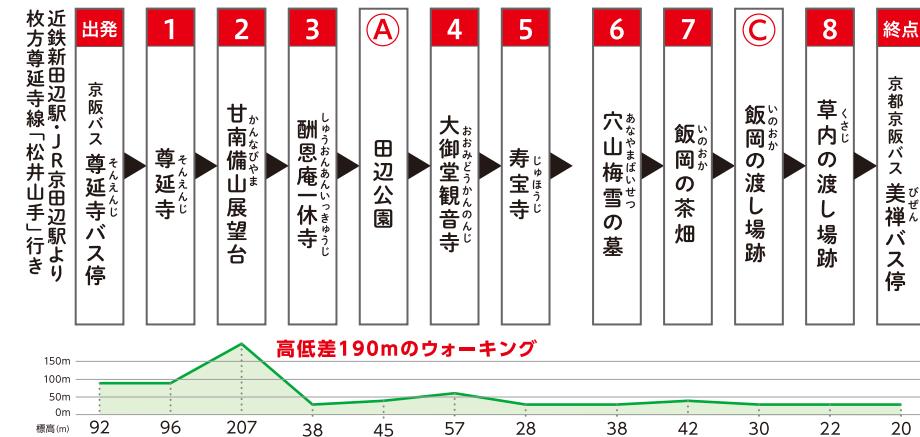


京田辺市
約16km
約200分
735kcal

命がけの伊賀越えの始まりを知る

ウォーキングコース一例



1 尊延寺



伊賀越えの始まりの地?

天平3年(731)建立の寺には1200年以上の時間の中で、守り伝えられてきた歴史的な建造物や数々の御像があります。家康は伊賀越えを開始するにあたり、この古刹に立ち寄ったとされています。

*拝観期間は正月のみ map / C-2

2 甘南備山展望台



人目を避けるため山道を逃げた?

家康一行は甘南備山山麓を通ったとされています。甘南備山は「神が鎮座する」という意味を持つ靈山で、かつて平安京造営の際には、都の中心軸を決定する大きな役割をしたといわれています。

map / D-2





3 酬恩庵一休寺

“とんちの一休さん”で有名な名刹酬恩庵一休寺は、数多くの重要文化財がある堂宇や国指定の名勝庭園が見どころです。この名刹は家康一行が通ったといわれる甘南備山東山麓に位置します。

[map D-1・E-1](#)

要予約 電話: 0774-62-0668



4 大御堂観音寺

天武天皇の勅願により義淵僧正が創建。天平の華・十一面觀音立像（国宝：全国で七体）が安置されています。家康一行や穴山梅雪一行もこの付近を通ったといわれています。

[map E-2](#)

要予約 電話: 0774-65-3422



5 寿宝寺

重要文化財に指定されている十一面千手千眼觀音立像を本尊とし、文武天皇の時代に創建されたと伝えられています。古くは「山本の大寺」と称され、民衆の信仰を集めました。

[map F-2](#)

要予約 電話: 0774-65-3422



6 穴山梅雪の墓

本領に戻ることが叶わぬ命を落とした穴山梅雪を憐れみ、飯岡の村人によってこの地に厚く葬られたと伝わっています。現在の飯岡共同墓地内に墓が立っています。

[map F-2](#)



7 飯岡の茶畠

日本遺産に認定される玉露の产地。日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」のひとつである飯岡の茶畠。京田辺市の特産・玉露を生産する飯岡地区は、丘陵に覆下栽培の茶園が広がり、丘陵周囲の水田、上部の集落という垂直配置が特徴です。

[map F-2](#)



8 草内の渡し場跡

十六の渡しともいい、草内と対岸の十六を結んでいました。この渡し付近で梅雪は命を落としたと伝わっていますが、1日前には家康が通ったルートであることから、家康の運の強さを感じられます。

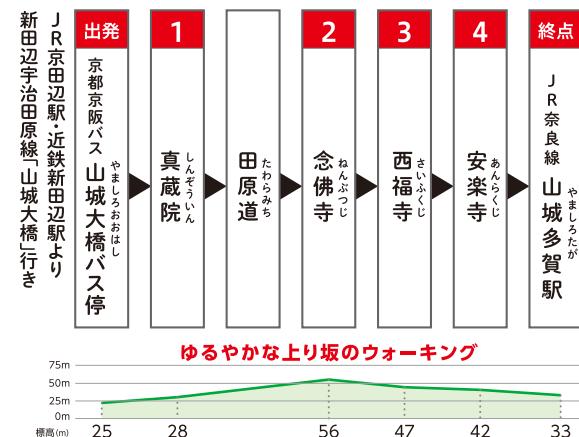
[map F-1](#)



井手町
約3.4km
約43分
158kcal

家康も訪れた?寺などを巡る
ゆるやかな上り坂のウォーキング

ウォーキングコース一例



1 真藏院



茶問屋から寺院へ

建物は明治元年(1868)に茶問屋として建てられたため、この地域は通称「多賀茶屋」といわれています。明治7年(1874)に寺院となり、妙見さんなどと呼ばれていましたが、明治24年(1891)に「真藏院」となりました。
[map B-1](#)

2 念佛寺



鎌倉時代からあるお寺

元禄9年(1696)の地蔵と鎌倉時代の五輪塔があるお寺。古くより真福寺として知られていましたが江戸時代後期に念佛寺となりました。昭和36年(1961)第二室戸台風で大きく破損したため、昭和48年(1973)に現在の場所に新築されました。
[map D-1](#)

3 西福寺



中山城観音靈場第18番札所

等身大の十一面觀音菩薩像が安置されています。藤原時代後期につくられた一本造りの立像で、ふくよかな肉付きと衣や体の柔らかな曲線は均衡がとれており、まさに当時栄えた貴族文化を象徴するものです。
[map D-2](#)



1 市辺天満神社



本殿は京都府登録文化財に登録

旧市辺村の産土神で、山麓の小高い場所に鎮座します。本殿は、小規模ながらも本格的な造りの一間社流造で、京都府登録文化財に登録されています。

map / C-2

2 西生寺



知恩院に属す浄土宗の寺

西生寺は天文年間(1532~55)に開基と伝えられる浄土宗の寺院です。寛文10年(1670)8月に知恩院の末寺となり、明治31年(1898)に設立した青谷保勝会(青谷梅林保勝会)から刊行された『青谿絶賞』の版木が残されています。
map / C-2
要連絡 電話:0774-52-0355 (2~3月のみ)

3 元弘役 松井藏人館旧跡の道標



『太平記』に登場する松井藏人

松井藏人は、元弘の乱で笠置を脱出した後醍醐天皇を発見した人物として、有名な軍記物語の『太平記』にその名が登場します。この道標は、松井藏人の館跡であると示しています。

map / C-2

4 市辺押磐皇子故趾の道標



悲劇の人物、市辺押磐皇子

明神橋のそばにこの道標が建っています。市辺という地名は、一説に履中天皇の皇子である市辺押磐皇子の居住によるものといわれています。この皇子は、皇位継承争いのために暗殺された悲劇の人物です。

map / C-2

5 粟神社



『延喜式』神名帳に記された「粟神社」

本殿は延享元年(1744)造営の小型の一間社流造で、屋根は柿葺です。覆屋の中にあるため当初材がよく残り、小型ですが手の込んだ造りです。

map / D-2

6 上方温泉一休温泉前バス停



美人の湯といわれる温泉

平成19年(2007)にオープン。美人の湯といわれるアルカリ性単純温泉で、源泉名を「松泉乃湯」といいます。「滝」と「松」をモチーフにした露天風呂や岩盤温浴、リラクゼーション、ヘッドスパなどがある充実した温泉です。

map / E-1

7 青谷梅林



歴史の古い、府内最大の梅林

城陽市南東部の丘陵地に広がる府内最大の梅林です。2月下旬から3月中旬にかけて見頃を迎え、同時に開催される梅まつり期間中は多くの観梅客でにぎわいます。

map / C-1

8 鴨谷の滝



「京都の自然200選」の滝

城陽市東南部の森林地帯を流れる青谷川支流の渓谷にある鴨谷の滝。豊かな自然に囲まれており、「京都の自然200選」にも選ばれています。

※鴨谷の滝への道はかなり危険がともないますので、一人では絶対に入らないでください。

map / E-1



松井藏人館旧跡の道標
約12分
1km

市辺押磐皇子故趾の道標
約7分
600m

粟神社
約6分
480m

親水公園
約23分
1.8km

上方温泉一休・一休温泉前バス停
終点

終点